



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年1月31日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141
 四半期報告書提出予定日 平成29年2月6日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	11,413	△2.2	746	0.6	780	20.4	462	19.2
28年3月期第3四半期	11,667	1.2	741	76.5	648	47.8	388	54.8

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 612百万円 (69.2%) 28年3月期第3四半期 362百万円 (△39.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	13.58	—
28年3月期第3四半期	11.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,419	7,092	45.4
28年3月期	14,803	6,679	41.8

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 6,548百万円 28年3月期 6,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.50	4.50
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成29年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,600	△4.6	960	△13.2	960	△4.2	570	△5.4	16.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	36,142,529株	28年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	2,183,849株	28年3月期	2,082,586株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	34,048,727株	28年3月期3Q	34,064,122株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、株安・円高の進行などを背景に景気の足踏みが続きましたが、米国大統領選以降は円安・株高に転じたことで、企業収益が改善するなど、緩やかな回復基調で推移しております。

染色加工業界におきましては、国内では、衣料品需要が少子高齢化や人口減少などによって構造的に減少傾向にあることに加え、消費者の根強い節約志向もあり、百貨店などの店頭で衣料品販売の低迷が深まっており、受注環境は厳しさを増しております。一方、当社が進出している東南アジア地域では、タイでは、国王崩御に伴う自粛ムードにより、個人消費が依然として停滞していますが、インドネシアでは、堅調な個人消費に支えられ景気は徐々に回復に向かっており、新たな事業機会の広がりが期待されるなど、東南アジア地域全体で、今後も人口増加や中間所得層の拡大により衣料分野や生活関連分野などで需要増加が見込まれます。

このような状況のもと、当社グループは、国内では染色加工事業で安定的な売上が確保できるユニフォームや非衣料分野の受注強化を進め、海外では、新規市場開拓を狙いフィリピンに販社を設立したことに加え、需要旺盛なインドネシアで更なる売上拡大に取り組んでおります。その一方で、非衣料化に伴う加工料単価の低下に対応するため、国内・海外の各生産拠点で原価低減活動の強化をさらに進め、グループ全体で収益力の向上に努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は11,413百万円（前年同期比2.2%減、254百万円減）となり、保育サービス事業が増収となりましたが、主力の染色加工事業に加え、縫製品販売事業が減収となったことにより、全体で減収となりました。

一方、利益面では、営業利益746百万円（前年同期比0.6%増、4百万円増）、経常利益780百万円（前年同期比20.4%増、132百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益462百万円（前年同期比19.2%増、74百万円増）と各利益段階で増益となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①染色加工事業

染色加工事業は、売上高は8,814百万円（前年同期比1.9%減、166百万円減）と減収になりましたが、営業利益は691百万円（前年同期比15.4%増、92百万円増）と増益になりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

（加工料部門）

加工料部門の売上高は6,998百万円（前年同期比0.1%増、5百万円増）と微増収になりました。

国内では、非衣料分野の受注拡大の取り組みにより、無地染加工は堅調に売上を伸ばしましたが、カジュアル衣料の販売不振によるプリント加工の減収や、非衣料化に伴う単価減少の影響により国内加工料部門全体で減収となっております。

海外では、タイ子会社が、国内景気低迷の影響により減収となりましたが、前期に実施した合理化の成果により、収益性は大幅に改善へ向かっております。その一方で、インドネシア子会社は、ローカル向けの受注を積極的に取り込み、売上数量を順調に伸ばしたことに加え、継続的なコスト削減活動の効果が寄与したことで増収増益となり染色加工事業全体における営業利益の増益に貢献しました。

（テキスタイル販売部門）

テキスタイル販売部門の売上高は1,816百万円（前年同期比8.6%減、171百万円減）となりました。国内は既存顧客との取り組み強化や、新規顧客の開拓を促進し、ユニフォームや資材用途商品の販売増に努めましたが、衣料品用途向けの販売が落ち込んだことで減収となり、また海外では、インドネシア子会社において、ローカル市場向けに委託加工での受注拡大を進めたことで、テキスタイル販売の売上は減少しております。

②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、売上高1,103百万円（前年同期比17.9%減、240百万円減）、営業損失36百万円（前年同期は営業利益12百万円）となりました。同事業は、インドネシア一貫生産体制による製品販売に加え、新たにイベント用品の販売に取り組むなど販売強化に努めました。しかしながら、既存客先の販売計画減少や政情不安と不安定な品質を背景としたバングラデシュ生産の縮小に加えて、相対的に為替相場が円安基調になったことで、輸入コストが膨らみ収益を圧迫したことから、厳しい業績となっております。

③保育サービス事業

保育サービス事業は、売上高1,544百万円（前年同期比12.2%増、168百万円増）、営業利益15百万円（前年同期比56.6%減、19百万円減）となりました。

同事業は、病院・企業内の保育所数や行政から受託運営する保育園数を順調に拡大し増収となりましたが、新規保育園開設などの業容拡大を目的とした費用が先行していることに加え、保育士の確保・定着を図るために積極的に保育士の処遇改善と採用活動を進めていることでコスト増となり、当四半期は減益となりました。

④倉庫事業

倉庫事業は、売上高196百万円（前年同期比4.3%減、8百万円減）、営業利益3百万円（前年同期比46.1%減、2百万円減）となりました。

同事業は、国内染色加工事業における商量減少に伴い、荷役取扱量が落ち込んだことで減収となりましたが、経費圧縮に努め、黒字を確保しております。

⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は162百万円（前年同期比8.1%減、14百万円減）、営業利益72百万円（前年同期比17.3%減、15百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、14,419百万円（前連結会計年度末比2.6%減、384百万円減）となりました。これは主に現金及び預金の増加399百万円、受取手形及び売掛金の減少849百万円等によるものです。

負債は、7,326百万円（前連結会計年度末比9.8%減、797百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少436百万円、短期借入金の返済による減少241百万円等によるものです。

純資産は、7,092百万円（前連結会計年度末比6.2%増、413百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益による増加462百万円、配当金支払による減少153百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加179百万円、為替換算調整勘定の減少127百万円、非支配株主持分の増加53百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。なお、業績予想につきましては、当第3四半期決算を踏まえ検討した結果、平成28年5月9日公表時から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,530,383	1,929,661
受取手形及び売掛金	4,317,728	3,468,597
商品及び製品	251,220	184,178
仕掛品	319,298	362,965
原材料及び貯蔵品	415,830	359,047
繰延税金資産	77,573	37,780
その他	127,754	212,430
貸倒引当金	△69,317	△77,372
流動資産合計	6,970,472	6,477,289
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,390,629	1,329,242
機械装置及び運搬具(純額)	1,814,600	1,766,225
土地	1,793,130	1,778,168
建設仮勘定	61,016	118,295
その他(純額)	379,328	304,142
有形固定資産合計	5,438,705	5,296,073
無形固定資産		
その他	43,116	42,764
無形固定資産合計	43,116	42,764
投資その他の資産		
投資有価証券	1,923,801	2,194,096
繰延税金資産	56,691	52,927
その他	376,520	361,187
貸倒引当金	△5,941	△5,144
投資その他の資産合計	2,351,071	2,603,067
固定資産合計	7,832,893	7,941,905
資産合計	14,803,365	14,419,195

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,197,859	1,761,814
短期借入金	1,441,077	1,199,332
未払法人税等	152,872	88,599
賞与引当金	180,450	95,175
その他	1,061,315	1,131,726
流動負債合計	5,033,575	4,276,648
固定負債		
長期借入金	953,865	1,020,000
役員退職慰労引当金	16,199	16,418
退職給付に係る負債	1,202,546	1,199,227
資産除去債務	40,158	40,841
その他	877,181	773,220
固定負債合計	3,089,952	3,049,707
負債合計	8,123,527	7,326,356
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,120	1,400,120
利益剰余金	1,386,502	1,695,678
自己株式	△394,654	△408,280
株主資本合計	6,691,968	6,987,518
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	388,180	567,628
為替換算調整勘定	△781,592	△909,209
退職給付に係る調整累計額	△108,906	△96,977
その他の包括利益累計額合計	△502,318	△438,558
非支配株主持分	490,187	543,877
純資産合計	6,679,838	7,092,838
負債純資産合計	14,803,365	14,419,195

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	11,667,251	11,413,064
売上原価	9,616,770	9,398,716
売上総利益	2,050,480	2,014,348
販売費及び一般管理費	1,308,958	1,268,044
営業利益	741,522	746,303
営業外収益		
受取利息	1,884	1,328
受取配当金	43,149	52,027
受取保険金	—	31,569
雑収入	11,630	23,147
営業外収益合計	56,664	108,073
営業外費用		
支払利息	27,551	17,483
為替差損	85,220	11,119
雑支出	37,266	45,261
営業外費用合計	150,037	73,863
経常利益	648,148	780,513
特別利益		
国庫補助金	—	36,557
投資有価証券売却益	12,070	—
移転補償金	22,433	—
特別利益合計	34,504	36,557
特別損失		
固定資産圧縮損	—	36,557
本社移転費用	22,516	—
特別損失合計	22,516	36,557
税金等調整前四半期純利益	660,136	780,513
法人税、住民税及び事業税	108,898	140,199
法人税等調整額	60,757	32,552
法人税等合計	169,655	172,751
四半期純利益	490,480	607,761
非支配株主に帰属する四半期純利益	102,404	145,315
親会社株主に帰属する四半期純利益	388,076	462,445

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益	490,480	607,761
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,241	179,447
為替換算調整勘定	△188,802	△179,479
退職給付に係る調整額	23,190	4,809
その他の包括利益合計	△128,370	4,777
四半期包括利益	362,110	612,539
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	318,418	535,378
非支配株主に係る四半期包括利益	43,691	77,161

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,979,355	1,157,670	1,376,091	11,360	11,524,477	142,774	11,667,251	—	11,667,251
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,743	186,663	—	193,654	382,062	33,814	415,876	△415,876	—
計	8,981,098	1,344,333	1,376,091	205,015	11,906,539	176,588	12,083,128	△415,876	11,667,251
セグメント利益	599,206	12,928	35,033	5,942	653,111	88,140	741,252	270	741,522

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額270千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	8,813,923	921,600	1,544,652	9,868	11,290,046	123,018	11,413,064	—	11,413,064
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	333	182,384	—	186,369	369,087	39,353	408,440	△408,440	—
計	8,814,256	1,103,985	1,544,652	196,238	11,659,133	162,371	11,821,505	△408,440	11,413,064
セグメント利益又 は損失(△)	691,351	△36,623	15,216	3,201	673,146	72,887	746,033	270	746,303

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額270千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。